

2009 年春(3 月～5 月)の東北地方の天候

- 高温
- 気温の変動が大きい
- 5 月の少雨

(1) 2009 年春(3 月～5 月)の天候

この期間、寒気の南下が弱く、また、高気圧におおわれ晴れて気温の高い日が多かったため、東北地方の春平均気温は高温となった。特に、南から暖かい空気が入った3月中旬や5月上旬は顕著な高温となり、3月19日には福島で夏日となるなど、3月としての日最高気温の高い方からの1位の値を更新するところもあった。一方、3月下旬、4月下旬には大陸から強い寒気が南下して低温となるなど、今春は気温の変動が大きかった。また、5月は、発達した低気圧の影響を受けることが少なく、降水量はかなり少なくなった。

3か月平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側でかなり高い。3か月間降水量は東北部で多く、東北南部で少ない。3か月間日照時間は東北地方で平年並。

3月：上旬と中旬は寒気の南下が弱く高温で経過した。19日には顕著な高温となり、仙台や福島など3月としての日最高気温の高い方からの1位の値を更新したところもあった。下旬は強い寒気が南下し、顕著な低温となった。天気は東北太平洋側では数日の周期で変化したが、東北日本海側では中旬に低気圧が次々に通過した影響や下旬に強い寒気が南下した影響で寡照となった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北地方で平年並。月間日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。降雪の深さの月合計平年比は東北日本海側で44%と少なく、東北太平洋側で22%とかなり少ない。

4月：上旬と中旬は、高気圧におおわれ晴れて気温の高い日が多く、特に上旬は顕著な少雨・多照となった。下旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化したが、25日から26日にかけて日本海低気圧や南岸低気圧の影響で大雨となるなど、降水量は多くなった。また、この時期としては強い寒気が南下したため、それまでの高温から一転して低温となり、積雪を観測したところもあった。

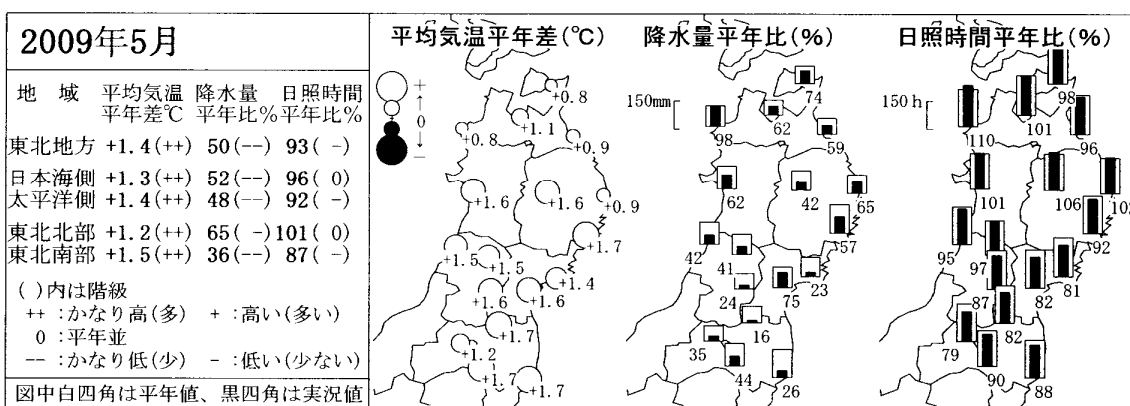
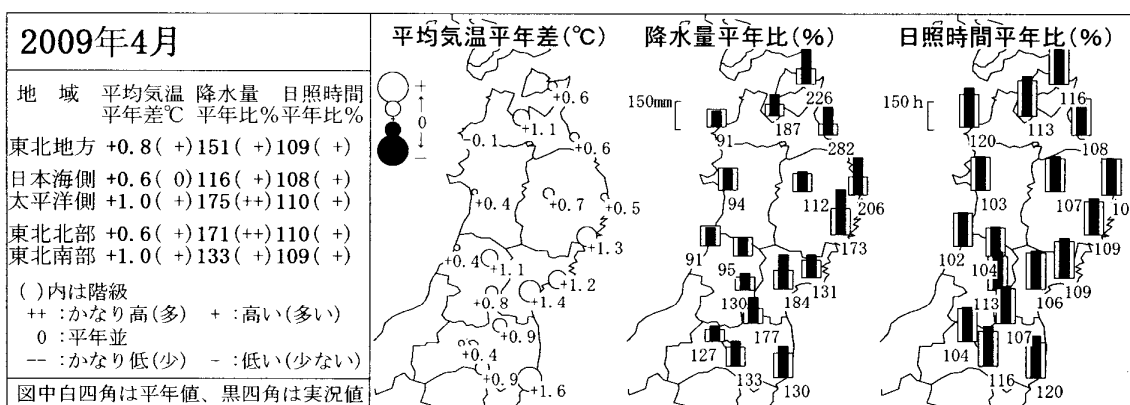
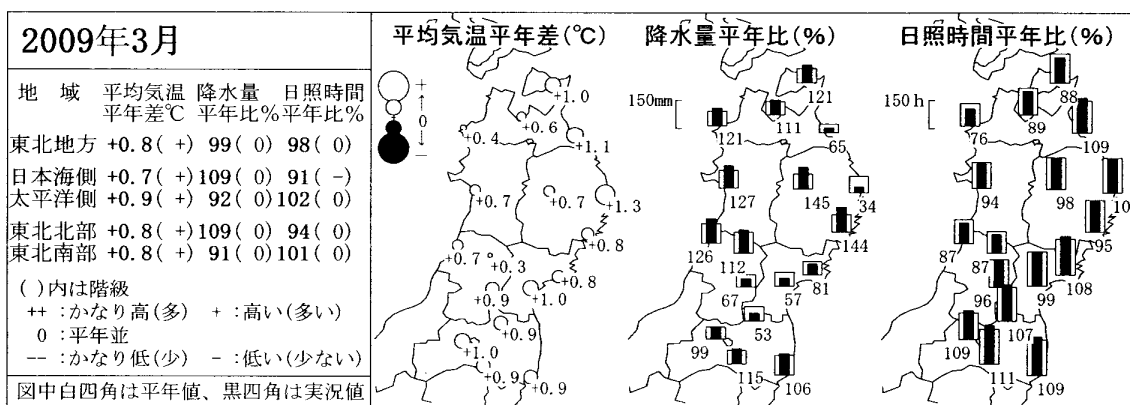
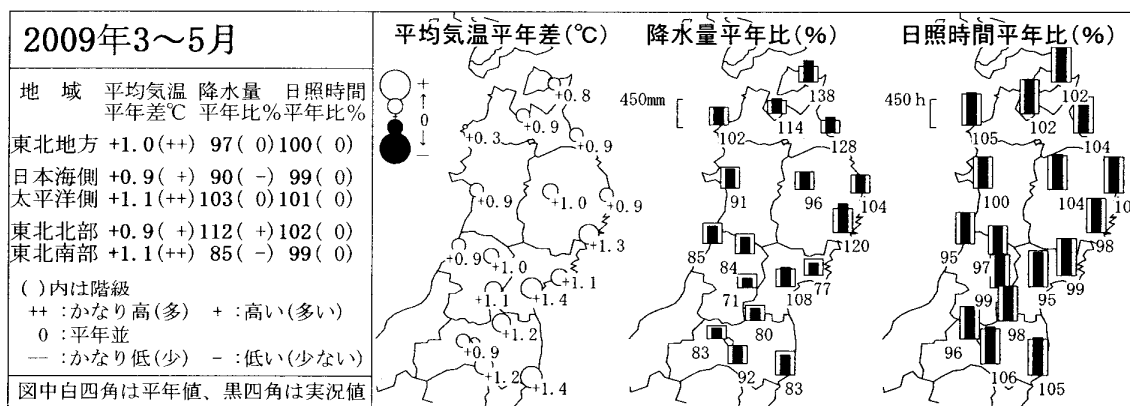
月平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は東北地方で多い。

5月：上旬は高気圧におおわれ晴れの日が多かったが、中旬以降は高気圧と低気圧が日本付近を交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。寒気の影響を受けにくく、上旬を中心に気温の高い日が多かったため、月平均気温はかなり高かった。また、発達した低気圧の影響を受けることは少なく、月降水量はかなり少なかった。東北南部では、1946年以降の5月として月降水量の少ない方からの1位となった。

月平均気温は東北地方でかなり高い。月降水量は東北部で少なく、東北南部でかなり少ない。月間日照時間は東北部で平年並、東北南部で少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。
平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注を参照して下さい。

(2) 2009 年春 (3 月～5 月) の季節・月平均 (合計) 値の平年差 (比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注) 東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方
 東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方
 東北北部：青森県、秋田県、岩手県
 東北南部：宮城県、山形県、福島県

(3) 2009 年春 (3 月～5 月) の気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(℃)	(℃)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	8.6	(+0.9)	+	239.0	(114)	+	29	547.4	(102)	○
深 浦	8.3	(+0.3)	+	285.5	(102)	○	31	518.6	(105)	○
む つ	7.7	(+0.8)	+	345.0	(138)	+	32	564.6	(102)	○
八 戸	8.8	(+0.9)	+	249.5	(128)	+	25	597.3	(104)	○
秋 田	9.8	(+0.9)	+*	304.5	(91)	—	34	502.6	(100)	○
盛 岡	9.0	(+1.0)	+	265.5	(96)	○	24	557.8	(104)	○
大 船 渡	10.0	(+1.3)	+*	457.0	(120)	+	23	532.3	(98)	○
宮 古	9.2	(+0.9)	+	290.5	(104)	○	21	574.3	(101)	○
仙 台	11.2	(+1.4)	+*	302.5	(108)	○	24	545.5	(95)	—
石 巻	10.1	(+1.1)	+*	199.5	(77)	—	24	580.8	(99)	○
山 形	10.5	(+1.1)	+*	152.5	(71)	—	24	521.4	(99)	○
新 庄	9.1	(+1.0)	+	262.5	(84)	—	33	432.7	(97)	—
酒 田	10.5	(+0.9)	+	276.0	(85)	—	37	474.9	(95)	○
福 島	12.1	(+1.2)	+*	196.0	(80)	—	20	555.6	(98)	○
若 松	10.3	(+0.9)	+	172.5	(83)	—	32	492.3	(96)	—
白 河	10.6	(+1.2)	+*	268.0	(92)	—	21	588.0	(106)	○
小 名 浜	12.2	(+1.4)	+*	317.0	(83)	—	23	600.6	(105)	○

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+-」に * を付加した。この場合には

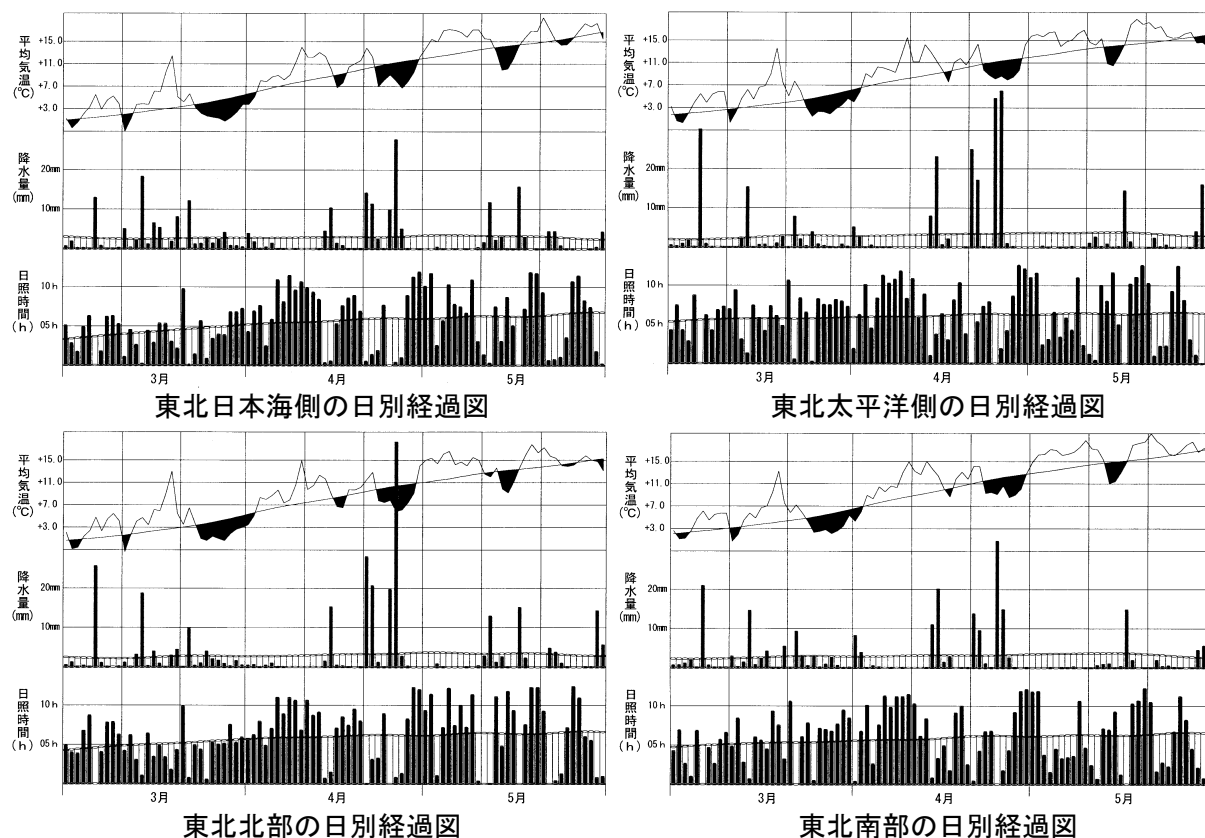
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、3 か月別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計月数(統計に用いた、品質が十分な月別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(4) 2009 年春 (3 月～5 月) の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(5) 2009 年春 (3 月～5 月) の極値・順位更新

（3 か月平均気温、3 か月間降水量、3 か月間日照時間、降雪の深さ 3 か月間の合計（多い方から）の 3 位以内のみ）

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

平年値とは 1971～2000 年の 30 年間の値を平均したものである。

3 か月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
2	小名浜	12.2	+1.4	12.4 (1999)	1911	10.8
3	大船渡	10.0	+1.3	10.1 (2002)	1964	8.7
	仙台	11.2	+1.4	11.4 (1998)	1927	9.8
	福島	12.1	+1.2	12.8 (1998)	1890	10.9
	白河	10.6	+1.2	11.4 (1998)	1940	9.4

（６）月統計値の極値更新

（月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪（大きい方から）、降雪の深さ月合計（多い方から）の１位のみ。）

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「＝」で表す。

平年値とは 1971～2000 年の 30 年間の値を平均したものである。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
5 月	大船渡	15.3	+1.7	15.1（1999）	1964	13.6
	仙台	16.5＝	+1.6	16.5（1999）	1927	14.9

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm（西暦年）	開始年	平年値 mm
5 月	山形	19.5	24	20.9（1926）	1890	81.3
	石巻	22.5	23	26.5（2003）	1888	98.2
	福島	14.0	16	25.0（1891）	1889	87.5
	小名浜	37.5	26	46.9（1946）	1910	147.0

<参考> 日最高気温の高い方からの順位更新

順位	地点名	気温 ℃（起日）	これまでの最高 ℃（年月日）	開始年
3 月	大船渡	22.7（3/19）	21.1（1969/3/27）	1964
	若松	22.8（3/19）	21.3（1954/3/27）	1954
	仙台	24.2（3/19）	23.8（1954/3/27）	1927
	福島	25.1（3/19）	24.5（1954/3/27）	1890

(7) 2009 年のさくらの開花・満開

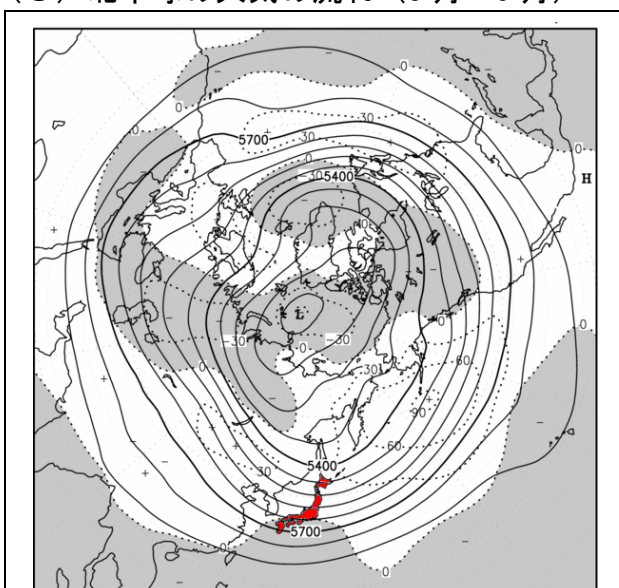
(統計期間:1953年～2008年:平年値は1971年～2000年)

観測地点	開 花 日					満 開 日				
	今年 (2009)	平年値	昨年 (2008)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2009)	平年値	昨年 (2008)	最早/起年	最晩/起年
青 森	4.18	4.26	4.17	4.14/2002	5.11/1984	4.22	5.01	4.21	4.16/2002	5.18/1984
盛 岡	4.13	4.23	4.12	4.11/2002	5.06/1984	4.18	4.27	4.17	4.16/2002	5.09/1984
仙 台	4.07	4.12	4.05	3.29/2002	4.28/1984	4.10	4.18	4.11	4.03/2002	5.03/1984
秋 田	4.14	4.19	4.10	4.07/2002	4.30/1984	4.19	4.24	4.15	4.12/2002	5.08/1984
山 形	4.11	4.17	4.12	4.03/2002	4.29/1984	4.13	4.21	4.16	4.06/2002	5.04/1984
酒 田	4.11	4.16	4.09	4.04/2002	4.27/1984	4.14	4.20	4.13	4.08/2002	5.02/1984
福 島	4.06	4.11	4.06	3.29/2002	4.25/1984	4.09	4.15	4.11	4.02/2002	4.28/1984

開花: 標本木が5～6輪開花した状態

満開: 標本木全体のつぼみの80%以上が開花した状態

(8) 北半球の大気の流れ (3 月～5 月)



3 月～5 月の平均 500hPa 高度・平年偏差図

実線は高度(m)、間隔 60m。破線は偏差(m)、間隔 30m。陰影部は負偏差域。

3 月～5 月の平均 500hPa 高度を見ると、日本付近を含む中緯度帯は、バイカル湖の南付近とアリューシャン付近に中心を持つ東西に広がる正偏差域に入り、寒気の影響を受けにくかったことを示している。